

バイパス整備により津波等災害時の緊急輸送路を確保・安全で円滑な交通を確保
 — 県道里根神岡上線バイパスの一部開通(北茨城市関本町～関南町) —



<事業概要>

県道里根神岡上線バイパス整備事業
 路線名 一般県道 里根神岡上線
 事業箇所 北茨城市関本町～関南町
 事業期間 平成23年度～
 総事業費 約25億円
 整備延長 2,000m
 幅員 13.0m/6.5m

【課題】

- 里根神岡上線の現道は、幅員が狭く屈曲していることから、慢性的な渋滞が発生しており、また、十分な歩道が整備されていないことから、歩行者や通過車両の安全で円滑な交通に支障をきたしていました。
- 東日本大震災時には、国道6号が津波により通行止めになったことから、国道6号の代替機能の確保が求められていました。

【整備効果】

- 見通しの良い両側歩道2車線のバイパス道路を整備することにより、以下の①～③の効果が得られました。
- ①津波等災害時における国道6号の代替機能を確保。
 - ②北茨城市民病院へのアクセスが大幅に向上。
 - ③現道の生活道路や通学路としての安全を確保。



災害に強い幹線道路が一部完成!



狭隘で屈曲し十分な歩道の無い現況道路



東日本大震災で国道6号が通行不能